



今年4月から完全学校週5日制が始まりました。

『ゆとり』の中で、一人ひとりの子どもたちに『生きる力』をはぐくむことをねらいとする新しい学習指導要領。学力の低下に対する危惧や学力評価の方法への戸惑いなど、21世紀にふさわしい教育の在り方をめぐって、さまざまな声が聞かれます。

今号では、新しい学習指導要領のねらいとこれに基づく市の取り組みをご紹介します。

生きる力を はぐくむ

新しい学習指導要領が 目指すもの

学習指導要領（1）は時代の変遷に伴い、およそ10年ごとに改訂され、今回の改訂（平成10年告示）は戦後6度目になります。

新しい学習指導要領では、平成4年に導入された学校週5日制と20世紀における教育の在り方を抜本的に改め、完全学校週5日制の下、『ゆとり』の中で『特色ある教育』を展開し、一人ひとりの子どもたちに、『生きる力』を育成することを目指し、次の点をねらいとしています。

1…国が定める教育課程の基準。

学習指導要領改訂 のねらい

豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成すること。
自ら学び、自ら考える力を育成すること。
ゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実すること。
各学校が創意工夫を生かして特色ある教育、特色ある学校づくりを進めること。

これらのねらいは、教育内容を量から質へ」と転換を図るもので、わかる授業で楽しい学校を実現していくとともに、子どもたちの『学び方』を変えていくものです。

学力低下が危惧されていますが、子どもたちが21世紀を担い、生涯にわたって心豊かにたくましく生き抜いていくためには、これまでの知識偏重の学力観から『生きる力』を育む学力観へと意識の転換を図っていくことが重要とされています。

わかる授業・ 楽しい学校の実現

教育内容が厳選されます

すべての子どもがゆとりをもって学習できるよう、共通に学ぶべき内容を社会生活を営む上で必要な基礎的・基本的なものに厳選され、授業時数が縮減されます（小学校4～6年生の場合…週29↓27単位時間、中学校の場合…週30↓28単位時間と週当たり2単位時間縮減。教育内容はこれまでのおおむね3割程度削減）。

わかりやすい授業が展開 され、個に応じた指導が 充実されます

各学校では、子どもたちが授業内容を確実に身に付けることができるよう、わかりやすい授業が展開され、一人ひとりを大切にしたいきめ細かな